

平成 17 年度 香川大学大学院・専攻科修了式 学長告辞

大学院及び専攻科の修了,おめでとう.博士の学位を受けた 18 名,修士の学位を受けた229 名,専攻科を修了した10 名の君たちの在学中または研究期間中の努力と熱意に心から敬意を表します.君たちの一部には博士課程に進学する人もいますが,君たちの多くは研究者または専門家として今後社会で活躍されることでしょう.本学には 8 つの大学院研究科がありますが,工学研究科では初めての博士課程修了生を,また地域マネジメント研究科では初めての修士課程修了生を送り出すことになり,香川大学にとってもたいへん喜ばしい限りであります.

君たちが博士論文や修士論文としてまとめ上げた最先端の研究成果は君たちにとって大きな宝でしょうが,それ以上の大きな宝は学位論文をまとめる過程で培われた探究心,解析力,表現力,見識であり,さらには今後も継続して学習することの重要性であると思います.最近の技術革新の速度はきわめて速く,また経済をはじめとする社会の動きもグローバル化,複雑化,急速化しております.今日の最先端研究成果が 10 年後には古典化または陳腐化してしまうことは,近年の科学技術の進展を見れば,当然のこととして予想されます.しかし,君たちが研究の過程で体得した企画力,探究心,解析力,表現力,直観力が古典化したり,陳腐化することはありません.研究の過程で君たちが得たそのような能力を社会は求めており,君たちの力が科学技術や地域社会の明日を創りてくれることを期待しております.

現在の世界的共通課題としては,地球環境劣化,人口増加,貧困層の拡大が挙げられます.また,新聞やテレビでは,SARS や BSE,鳥インフルエンザなどの疫病,並びに巨大災害がしばしば大きな話題になってはいますが,それらの疫病や巨大災害は地球環境の劣化や人口増加と密接につながっているとも言われています.さらに,1960 年頃には 30 億だった世界の人口も現在は当時の倍以上の 65 億人になっており,それに伴って森林破壊や砂漠化が進行する

と同時に、8 億人以上の人が栄養不足に陥っています。これらの課題は20 世紀の負の遺産とも言われていますが、21 世紀に我われが解決しなければならない重要な課題であることの違いはありません。このような地球規模的課題に鋭く、新しい視点を持ちながら挑戦し、解決の方向を提示できるのは君たちのような若い研究者の特権であり、喜びであると思います。

21世紀は「知識基盤社会」と位置付けられています。新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化を始めとする社会のあらゆる領域において活動の基盤となり、知識・情報・技術が飛躍的に重要性を増すと考えられています。特に、我が国にとっては人々の知的活動・創造力が最大の資源であると考えられます。したがって、探究心や解析力を備えた君たちが知的活動・創造力の担い手になることが期待されています。

日本学術会議では「品格ある国家像の実現」が取り上げられており、また最近のベストセラーのなかでも「国家の品格」が話題になっています。しかし、私は国家の品格よりも個人の品格をまず大切にしたいと考えています。品格とか品位という言葉はかつてはよく使われた言葉であります。君たちは、先ほど述べたような学習力、探究心、解析力、表現力などを備え、優れた素養を持ち、科学技術や地域社会をリードし、指導できる社会人になれる資質を十分に持っていることを確信しています。日々の学習はもちろん、清廉な私生活に努め、人びとから尊敬される品位と品格を兼ね備えた社会人になることを私は心から願っています。

平成 18 年 3 月 24 日

香川大学長 一井眞比古